



## 成果報告書の発刊によせて

世界が政治不安、異常気象、環境破壊など極めて深刻な情勢の中、我国でも2011年3月11日の東日本大震災、9月に紀伊半島南部を襲った台風12号など重大な災害が発生し、今もお復興に向けた懸命の努力が続けられています。被災された皆様には1日も早い復旧をお祈りするとともに、復興に携わる皆様方の労苦を称えたいと思います。

さて、大学は教育、研究、社会貢献を3つの大きな使命として位置付け、全国で様々な活動が行われています。本学でも、診療を含むこれらの分野すべてにわたり地域と連携し、地方の国立大学として、「知の拠点」として本学の有する知的資源を生かし、これらの役目を果たすべく努めてきました。

平成23年度は、平成22年度に見直しを行った地域連携推進体制を検証し、かつ、教育・研究による長期的な視

点からの社会貢献だけでなく、公開講座や産学官連携、地域との連携強化による課題解決など直接的な貢献を通じ、これまで行ってきた地域貢献をさらに充実させるなどさまざまな取り組みを行いました。

このたび、それらの活動の結果を、成果報告書としてまとめました。この報告書は、本学ホームページ ([http://www.tokushima-u.ac.jp/exchange/area\\_cooperation/](http://www.tokushima-u.ac.jp/exchange/area_cooperation/))でもご覧いただけます。特に、今回は東日本大震災への支援活動を集録するとともに、各部署が実施した地域貢献に関する活動も掲載しています。

本学は、今後も社会の国際化等の流れの中で、地域の課題解決やグローバル人材の養成など多彩な取り組みを進めるとともに、地域とのつながりをさらに強化することにより社会貢献に努めていきたいと考えています。

徳島大学長

香川 行